

オンプレミスからクラウドへ

Voice X

初めてのクラウドPBX導入でも安心できる
品質・コスト・運用性をご提供



 COMSQUARE

1. 会社電話のオンプレミス、クラウド [◀ クリックで該当ページへ移動します](#)

2. VoiceX（ボイスクロス）とは？

3. コスト比較

3-1. 初期費用（100名規模想定）

3-2. 長期運用（100名規模、6~7年程度）

3-3. 多拠点の統合（コスト/運用）

4. 導入事例

4-1. BCC株式会社 - 複数拠点・在宅の一元化

4-2. 富士ラテックス株式会社 - 機能・コスト・品質

5. まとめ



1. 会社電話のオンプレミス、クラウド

業務には欠かせない会社電話。

現在、以下の理由からその更新の時期が近付いている企業が多くなっています。

現在のPBX種別・
保守期限・更新時期

直近1年の
組織変更・増員計画

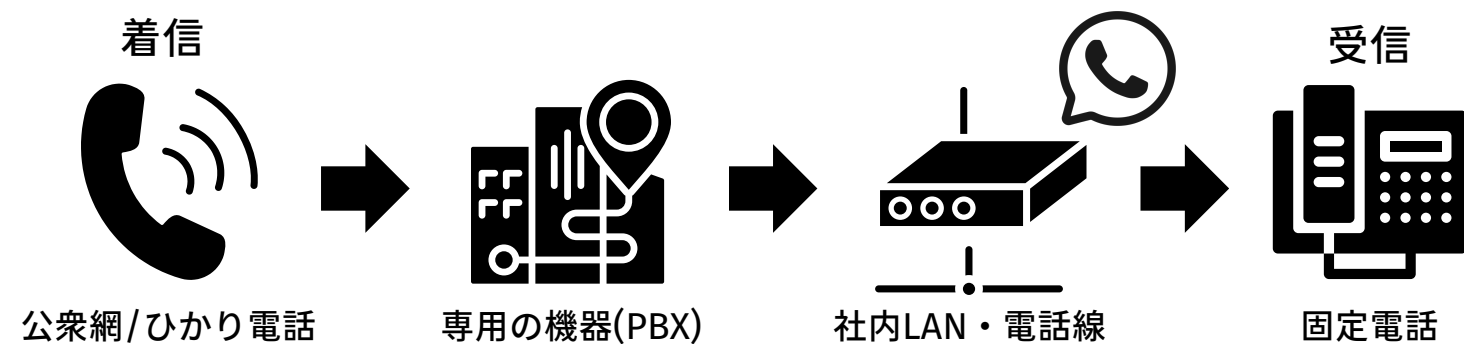
在宅勤務比率
スマホ内線の要否

回線増設や設定変更の
発生頻度

会社電話であるPBXを更新する上で考えたいのが、「オンプレミス」と「クラウド」の2つの選択肢があるということ。

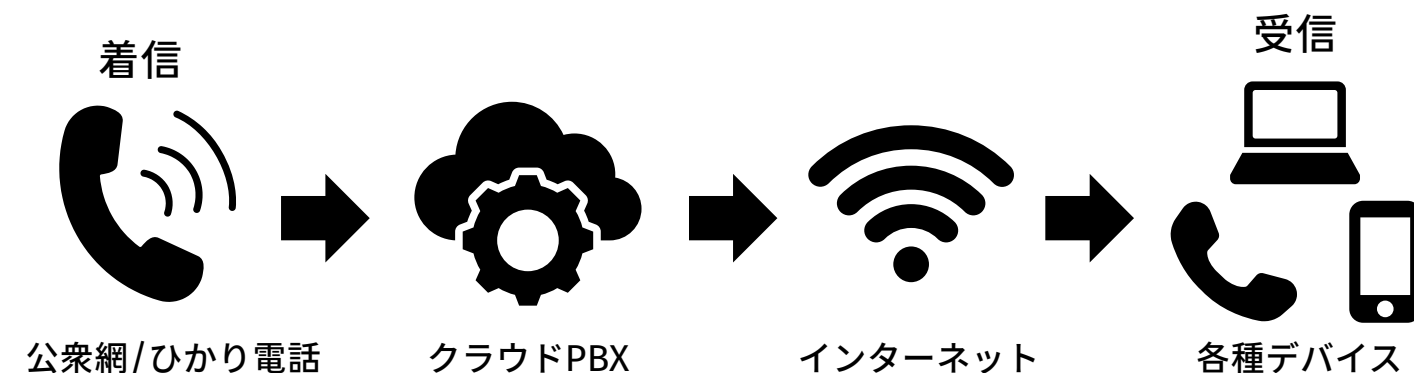
オンプレミス

自社オフィス内に専用の機器を設置・保有し、
自らの管理下でシステムを運用する「資産保有型」のスタイル



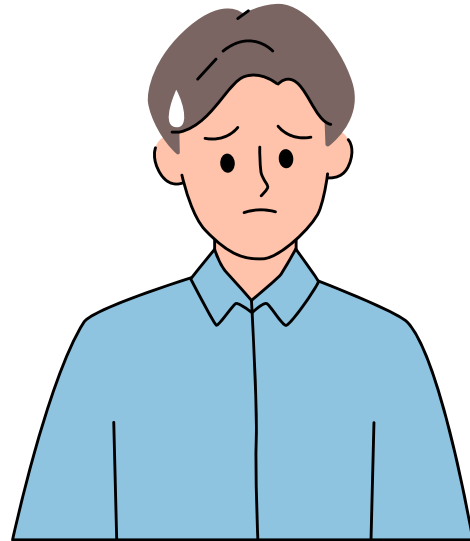
クラウド

自社で機器を持たず、インターネットを通じて事業者が提供する機能を
必要な分だけ利用する「サービス利用型」のスタイル



1. 会社電話のオンプレミス、クラウド

実は、今まで主流だったオンプレミスのPBXにはこんな課題が潜んでいるのです。



- 💰 高額な初期投資（機器50万円～数百万円＋電話機＋工事費）
- ⚙️ 設定変更のたびにベンダー依存（時間・費用が発生）
- 🔗 拡張性の制約（回線増設に工事が必要）
- 🏢 多拠点で個別管理が必要で非効率



また、従来のオンプレミスの電話にはこんなリスクが...

- 🏢 機会損失：組織変更・増員に迅速対応できず業務停滞
- 💰 コスト増：各拠点の保守更新・回線工事が累積
- 🛡️ BCP脆弱性：機器故障/災害時の復旧遅延



どうすればいい？ ➡️ **クラウド化**で解決できる！

1. 会社電話のオンプレミス、クラウド

ここで、PBXをクラウド化することによるメリットをご紹介します。

- 📈 初期投資を大幅圧縮し資金を成長投資へ
- 🔄 設定変更を自社で即日反映（無停止・無工事）
- 📍 多拠点・在宅を含めた一元管理と標準化
- 🔧 BCP強化: 機器故障や拠点障害に強い
- 🔍 データ化/可視化により運用改善が加速



会社電話をクラウド化することによって、「イマ」の働き方に合わせた運用の実現が可能になります。

そこでご紹介するのが、初めてのクラウドPBX導入でも安心できる品質・コスト・運用性を提供している**VoiceX**（ボイスクロス）です。

クラウドPBX
Voice Xって？

次世代型クラウドPBX

Voice Xⁱとは？

会社電話のクラウド化と電話業務のDXを同時実現
インターネットがあればPC/スマホでどこでも会社電話
工事不要、現在の電話番号も継続利用可能



2. VoiceX（ボイスクロス）とは？ [Click](#)

3. コスト比較

3-1. 初期費用（100名規模想定）

3-2. 長期運用（100名規模、6~7年程度）

3-3. 多拠点の統合（コスト/運用）

4. 導入事例

4-1. BCC株式会社 - 複数拠点・在宅の一元化

4-2. 富士ラテックス株式会社 - 機能・コスト・品質

5. まとめ



Voice X

2. VoiceX (ボイスクロス) とは？

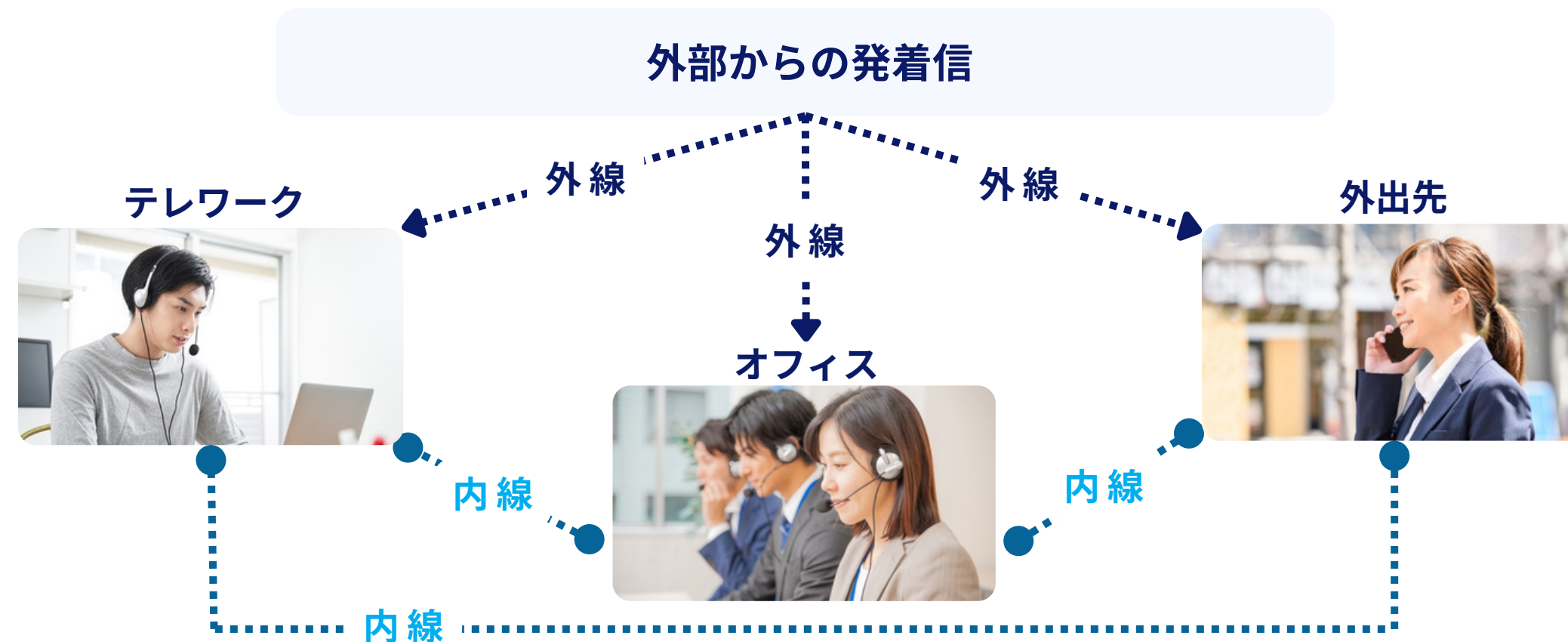
会社の固定電話をクラウド化！好きな場所でもっとスマートに働く

通信キャリアが提供する
安心のクラウドPBX

Voice X

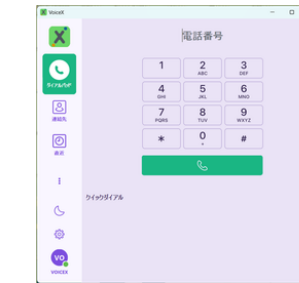
VoiceX (ボイスクロス) は、電話業務におけるテレワーク化とDX化を同時実現する次世代型クラウドPBXです。

インターネット回線さえあれば、機器の購入・回線工事・保守費用不要で、いつでもどこからでも電話・FAX業務が可能になります。



自宅からPCで

ソフトフォンで会社電話を利用可能！



Voice X Desktop



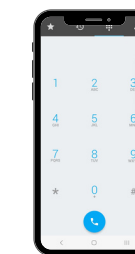
会社から固定電話で

オフィスからはIP固定電話で！



外出先からスマホで

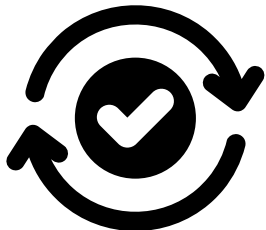
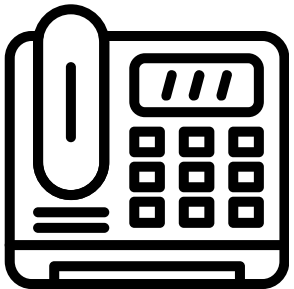
専用アプリで外出先からも利用可能！



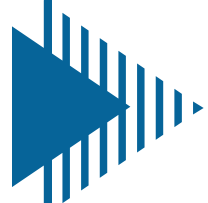
Voice X Mobile

2. VoiceX (ボイスクロス) とは？

クラウドPBXとしての「VoiceX」の強みをご紹介します。

<p>通信キャリアとして 300万以上の番号発行実績</p>  <p>3,000,000+</p>	<p>総務省の評価基準で「クラスA」 = 固定電話並みの音質</p>  	<p>フルクラウド型 (ゲートウェイ 不要) でスピーディー導入</p> 
<p>管理画面で内線/ガイダンス/ 転送等を即時変更</p>  	<p>スマホ/PC/IP電話に対応 働き方にフィット</p>   	<p>通話のデータ化や 要約/分析 (VoiceX AI)も拡張可</p>  

次のページ：コスト比較 オンプレvsクラウド



3-1. コスト比較① - 初期費用(100名規模想定)

オンプレミスとクラウドで、新たに会社電話を導入する際の初期費用を比較してみました。

オンプレミスPBX

PBX機器：100万円～数百万円
電話機：100万円～200万円
工事/設定費：100万円～200万円

費用が掛かる
ほかに、工事
などの工程が
必要

初期費用合計：約500万円～

VoiceX (クラウドPBX)

PBX機器：約50万円～100万円
電話機：0円～100万円
工事費：0円

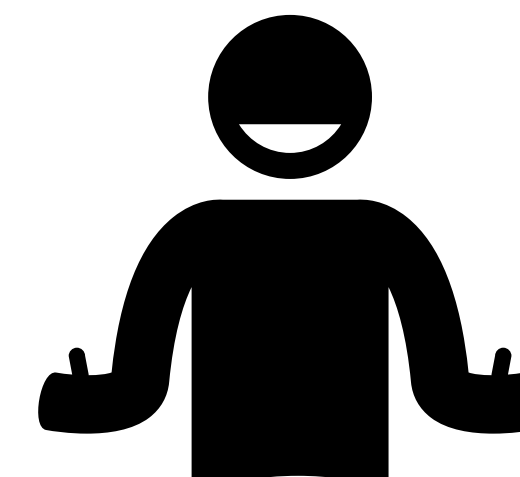
スマホ/PCの利用で
削減可能！

工事/設定費なし！

初期費用合計：約50万円～200万円



初期費用を60%以上削減可能！
導入のための工事等も不要であるため
大幅な工数削減にもつながる



3-2. コスト比較② - 長期運用(100名規模、6~7年程度)

オンプレミスとクラウドでPBXを長期運用した際のコストの比較です。

オンプレミスPBX

初期費用：約500万円

月額保守：約5万円/月

6年総額：約860万円

7年総額：約920万円

} + 隠れコスト !

VoiceX (クラウドPBX)

初期費用：約50万円

月額保守：約12万円/月

6年総額：約914万円

7年総額：約1,058万円

一見クラウドPBXの方が
高くなるようだが...

オンプレミスにはこんな隠れコストが !

- 設定変更の都度発生する業者依頼費用 (1回5万円~)
- 回線増設が必要になった際の工事費用 (1回10万円~)
- 障害対応・復旧時の緊急対応費用
- 各拠点ごとの保守更新コスト (多拠点企業の場合)

運用の体制、方法などによって
オンプレミスorクラウドの
どちらにするかを考える必要がある!

3-3. コスト比較③ - 多拠点統合のメリット

多拠点にPBXを導入していたところからクラウドPBXを導入・拠点を統合することで.....

- 各拠点ごとに保守・運用・管理していたPBXを一元管理できる
- 今後の入れ替え等の定期的な検討やコストの低減が見込める

☎ 従来 (3拠点・計100名)

- 各拠点にPBX設置：各1台×3拠点
- 保守費用：月5万円×3拠点
- 拠点間通話：外線扱い（通話料発生）
- 初期投資：約1,500万円/3拠点

初期費用：約1,500万円

月額費用：約15万円

☁ クラウドPBX (VoiceX) 導入後

- システム管理：単一システムで一元管理
- 拠点間通話：内線化（通話料無料）
- 初期費用：約50万円
- 月額費用：約12万円（100名）

初期費用：約50万円

月額費用：約12万円

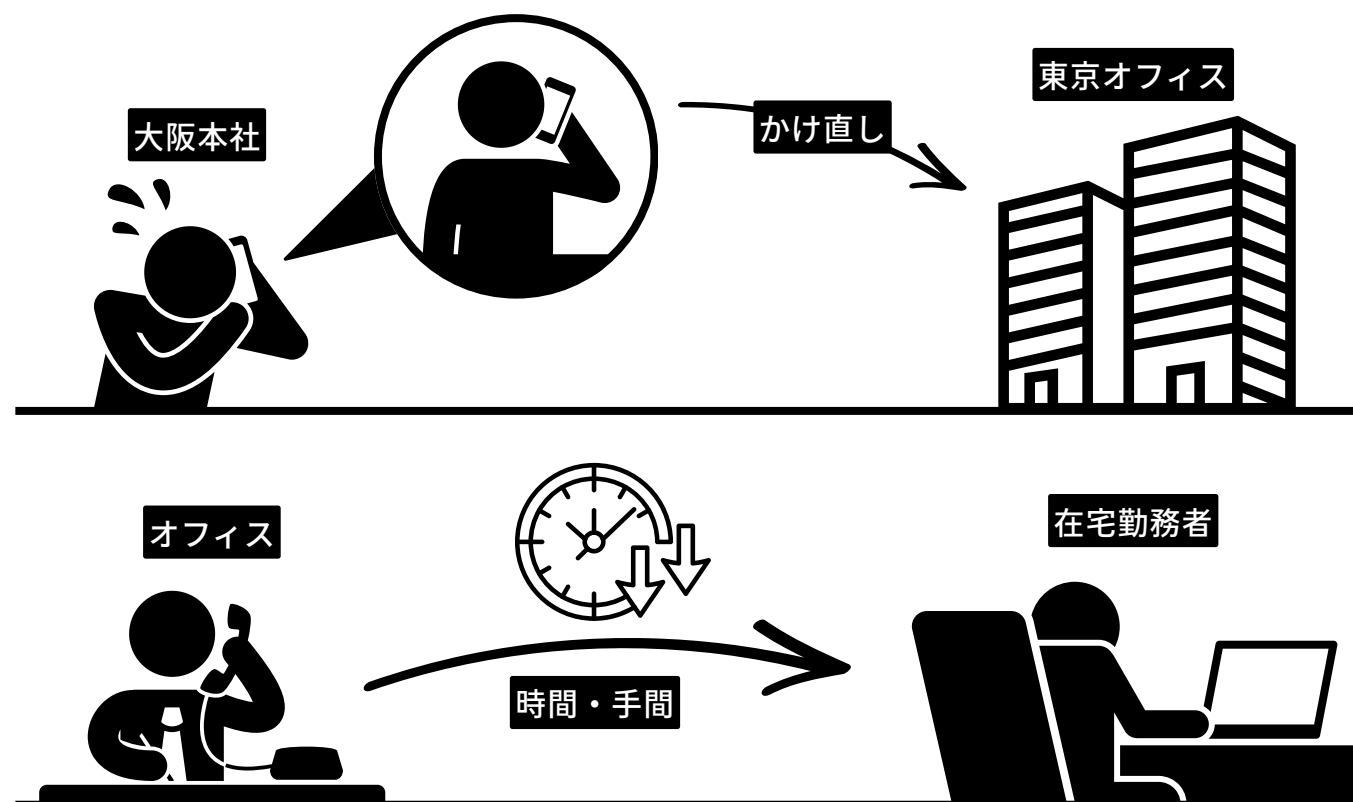
初期費用: 約1,495万円削減！
月額費用: 約25万円削減！



4-1. 導入事例① BCC株式会社 - 複数拠点・在宅の一元化

Before

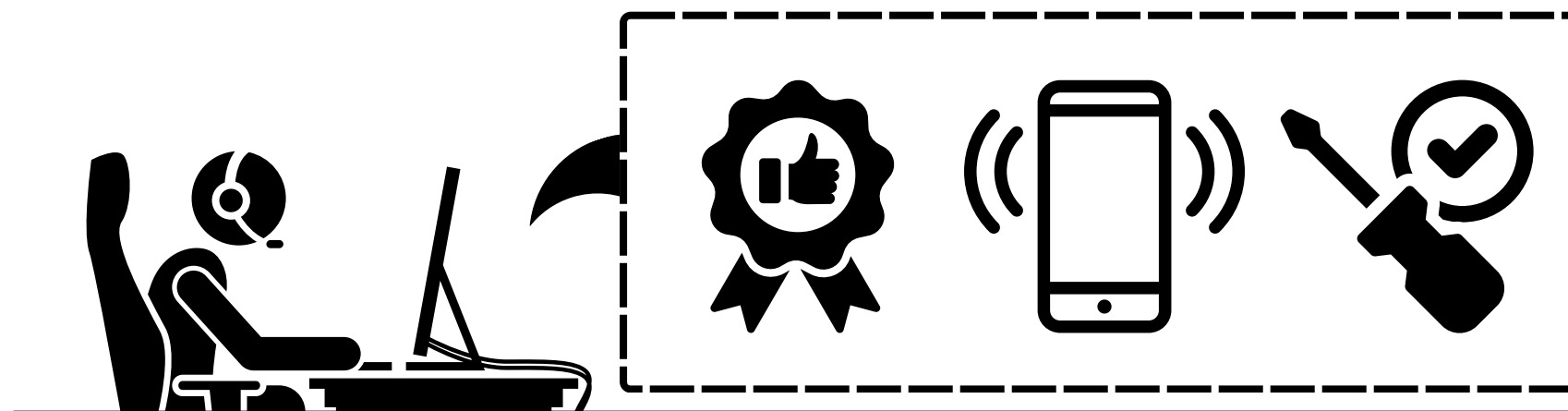
オフィス間の電話のかけ直しや、在宅中の電話対応に手間がかかっていた



- 採用関連の電話が大阪本社にかかることがあり、東京オフィスにかけ直してもらう手間が発生していた。
- 在宅勤務者への電話対応に時間がかかり、折り返しや取次ぎに手間が生じていた。

After

今までと変わらない通話品質で、時間外ガイダンスの一元管理や、内線番号・スマホの設定も簡単に行うことができるように



▶導入理由

- フルクラウド型で導入することができる
- スマートフォン連携が容易&標準オプションのため費用が抑えられる

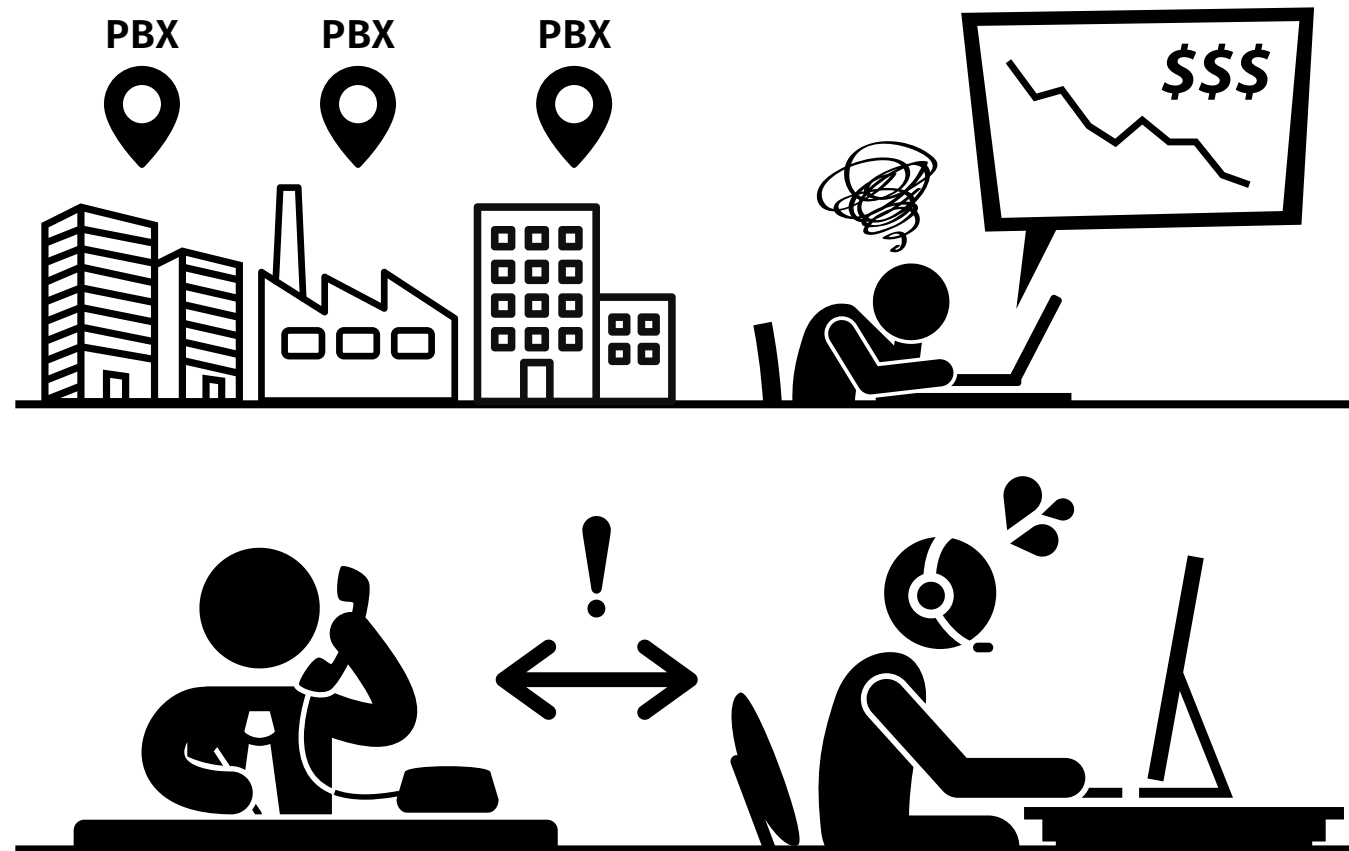
▶導入効果

- 今までと変わらないクオリティ・音声品質
- オフィス間の時間外ガイダンスの一元管理
- 管理画面から簡単に番号・名前の設定ができる

4-2. 導入事例② 不二ラテックス株式会社 - 機能・コスト・品質

Before

拠点ごとのPBX維持コストや、
外線・内線・テレワーク環境への問題



- 拠点ごとのPBX設置でのコスト負担が大きくなっていた。
- コロナ禍でテレワークが増えたことへの対応が必須になった。

After

フルクラウド型でシステム部門を介さず内線管理も
容易にでき、柔軟な働き方と効率化を実現



▶導入理由

- 機能面：フルクラウド型かつ総務部門でも内線の設定が可能
- コスト面：10年間で60%超のコスト削減見込
- 品質面：通信キャリアとしての事業実績がある

▶導入効果

- 電話対応のフレキシブル化：社内外どこからでも内線や外線をかけることができるように
- IVR機能で外線の振分けを自動化し、総務の業務削減

5. まとめ

クラウドPBXとしてVoiceXを導入する利点

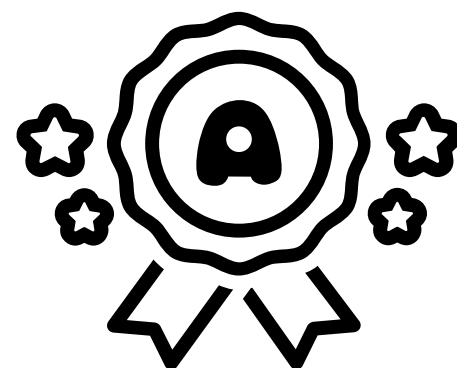
① 電話番号の継続利用ができる

→ 全国主要都市の現在ご利用中の電話番号の継続利用が可能
→ オンプレミスからの移行もスムーズ



② 通信キャリアとしての実績

→ 総務省等の通信品質基準で「クラスA」と最も高い評価を獲得した音声品質



③ AIによる通話データ解析

→ 通話内容のテキスト化だけでなく、要約・分析が可能



VoiceXの導入までのサポート

- ① 専任担当によるサポート - 担当者からお客様に合わせたご提案をさせていただきます。
- ② 無料トライアル - お客様のインターネット環境で、操作感・通話品質をお試しくください。
- ③ 30日間返金保証制度 - 通話品質起因の不具合が起きた場合は返金対応をさせていただきます。

オンプレミスからクラウドへ

Voice X

通信キャリアが提供する 高品質クラウドPBX

製品開発・販売元



株式会社コムスクエア

東京都中央区銀座 1-3-1 銀座富士屋ビル3F,4F

▶製品サイトは[こちら](#)

▶お問い合わせは[こちら](#)

▶お電話：050-1860-4685

▶メール：mktg-c@comsq.com